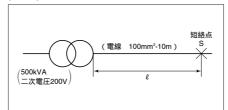
三相回路における短絡電流早見表

三相回路における短絡電流早見表-1

該当する変圧器容量と二次電圧の早見表を 用い、電線の太さと短絡点までの距離(ℓ) により推定短絡電流対称値が簡単に求めら れます。

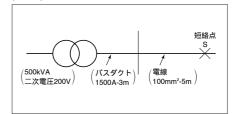
早見表作成上の条件

- ①変圧器は付表1の標準変圧器とし、電源 総合インピーダンスは付表4を採用。
- ②バスダクトのインピーダンスは付表7 (50Hzの場合)を採用。
- ③電線のインピーダンスは付表8(50Hz の場合)のうちICケーブル金属パイプ配 線を採用。



付図14を使い、短絡電流は23kAとな ります。

(例2)



 $100\,mm^2$ 、 $5m\tau$ は29kA1500Aバスダクト、8mでは35.5kA ... (b) ②、Dのうち小さい方の値29kAがS点 の推定短絡電流です。

> 38mm² 14mm

> > 8mm²

3.5mm² 2mm²(ø1.6)

付図2 三相変圧器容量50kVA、二次電圧200V 付図3 三相変圧器容量50kVA、二次電圧415V 38mm² 14mm² 5.5mm² 3.5mm 2 0mm² (ø 1 6) 15 20 30 40 50 60 80 100 変圧器から短絡点までの距離(m) 付図4 三相変圧器容量75kVA、二次電圧200V 3.5mm 短絡電流対称値 15 2.0mm²(ø 1.6)

4 5 6 8 10 15 20 30 40 50 60 80 100

